UniCap リモート制御インターフェース 取り扱い説明書

Ver 1.0

浜松ホトニクス株式会社

目次

1. 概要	<i>3</i>
2. 使用環境	<i>3</i>
(1) ハードウエア環境	3
(2)ソフトウエア環境	3
3. ネットワーク環境について	4
4. コマンド体系	<i>5</i>
5. コマンドリファレンス	<i>6</i>
①UniCap コマンド	7
②CaptBase :画像取り込みコマンド	22
③Universal :カメラ設定コマンド	23
④特殊コマンド	30
5. 付録	32
(1) スクリプトコマンドの戻り値	32

1. 概要

本資料は、UniCap画像取得アプリケーションのネットワーク等を利用したリモート制御部分について記します。本機能は、ネットワーク上からのコマンド送受信に対応している為に、相手の種別に関係無く、リモート制御が可能です。よって、WindowsOSのみならず、ネットワーク上にコマンド(TCP/IP)に送受信できるデバイスであれば、外部からの制御が可能となります。

2. 使用環境

本項では、ネットワーク機能を使用する際のハードウエア、ソフトウエア環境について記します。

(1) ハードウエア環境

- ① 浜松ホトニクス製 デジタルカメラ
- ② Windows PC
- ③ 画像入力インターフェース (カメラリンクボード、IEEE1394 ボード等)
- ④ カメラと PC を接続するインターフェースケーブル
- ⑤ UniCap画像取得アプリケーション用ネットワーク対応プロテクトキー

(2) ソフトウエア環境

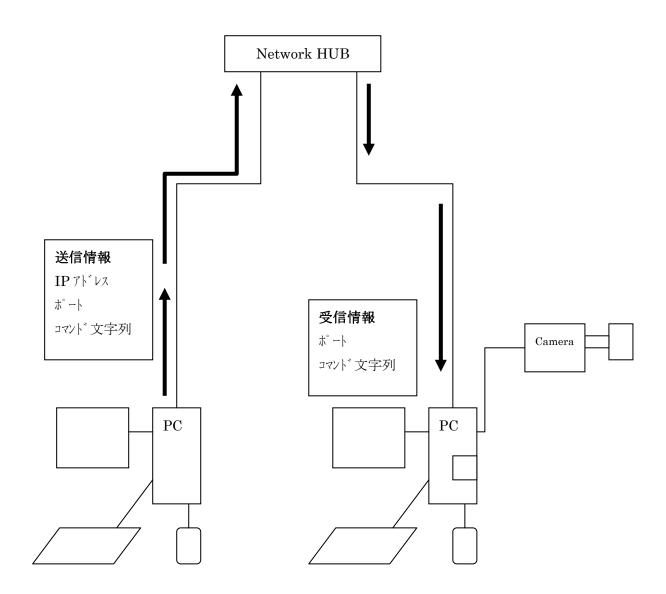
- ① UniCap画像取得アプリケーション (ネットワーク対応版)
- ② DCAMAPIモジュール

3. ネットワーク環境について

UniCapのネットワークリモートについては、TCP/IPによるコマンド送受信により制御を可能としています。UniCapでは、コマンド用の1ポートを使用して、コマンド送受信を行います。ユーザーが必要な情報としては、下記の様になります。

- ① UniCap が動作している PC のコンピュータ名、又は、 I Pアドレス
- ② UniCap のコマンド送受信で使用するポート番号 (1101)

リモート制御を行う側からは、上記の情報を元に後述する、コマンドを送受信できれば、外部の PC などから UniCap を外部制御する事が可能になります。



4. コマンド体系

リモート制御用コマンドフォーマットについては、基本的に文字列の送受信により、制御を行います。これは、UniCapのリモート制御部分については、他の制御機能との互換性を保つ為に、文字列で統一しています。よって、スクリプト制御、ネットワーク(TCP/IPパケット)による制御が、同じ様なコマンド体系にて制御可能です。

本書では、TCP/IPパケットを利用した外部制御を主に考慮して記します。 コマンドフォーマットは、下記に示すようにアスキー文字列により形成されます。

コマンド: TYPE:NAME,Prm1,Prm2,・・・

TYPE : コマンドタイプ

NAME: コマンドネーム

 Prm1 :
 コマンドパラメータ 1

 Prm2 :
 コマンドパラメータ 2

. . . .

パラメータは、0個からN個までコマンドにより不定個です。

デリミタ: "CR"

戻り値: "文字列"

"OK" : コマンド成功

5. コマンドリファレンス

本項では、ネットワーク機能で対応可能な各コマンド詳細を記します。 コマンドは、下記の様にグループ分けされています。

①UniCap : UniCap コマンド

②CaptBase : 画像取り込みコマンド③Universal : カメラ設定コマンド

④SP : 特殊コマンド

①UniCap : UniCap コマンド

GetSize 取り込み画像サイズ取得

コマンド: "UniCap:GetSize"

戻り値: "UniCap:GetSize,W,H,B,K"

W:画像横サイズH:画像縦サイズB:画像ビット数

K : 画像種類

1 : モノクロ 3 : カラー

GetCap DCAM キャパビリティ取得

機能 : 接続されいるカメラの機能問い合わせを行う場合に使用します。返り値については、バイナリ展開して使用します。

コマンド: "UniCap:GetCap"

戻り値: "UniCap:GetCap,CAP"

CAP : キャパビリティデータ

GetTime 露光時間取得

コマンド: "UniCap:GetTime"

戻り値 : "UniCap:GetTime,RAT"

RAT : 露光時間[秒]

GetTmpカメラ温度取得

コマンド: "UniCap:GetTmp"

戻り値 : "UniCap:GetTmp,TMP"

TMP : カメラ温度[℃]

<u>GetCamera</u>

カメラ設定 GUI-ID 取得

コマンド: "UniCap:GetCamera"

戻り値 : "UniCap:GetCamera,ID"

ID : カメラ設定 GUI-ID

0 : ORCA_NR

1 : ORCA_HR

2 : ORCA_ER

3 : ORCA2_BT

4 : ORCA2_ER

5 : ORCA2_HR

6 : C4880_STD

7 : DUMMY

8 : DUMMY

9 : C7780

10 : C4880_80

11 : C8800

12 : C7770

13 : IQV

14 : DCAM

15 : UNIVERSAL

16 : DUMMY

17 : ORCA_ERSP1

GetInfo DCAM 情報取得

機能 : Unicapで接続しているカメラ等の情報を取得する場合に使用する。 指定したIDにより、取得できる情報が違います。

コマンド: "UniCap:GetInfo,ID"

ID : ID番号

0 : DCAM_IDSTR_VENDOR 1 : DCAM_IDSTR_MODEL

2 : DCAM_IDSTR_BUS 3 : DCAM_IDSTR_CAMERA

3 : DCAM_IDSTR_CAMERAID
4 : DCAM_IDSTR_CAMERAVERSION
5 : DCAM_IDSTR_DRIVERVERSION
6 : DCAM_IDSTR_MODULEVERSION

7 : DCAM_IDSTR_DCAMAPIVERSION

戻り値: "UniCap:GetInfo,ID,INF"

"INF" : DCAM 情報

コマンド: "UniCap:SetFrame,N"

N : フレーム数

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

SetStep

取り込みステップ数設定

コマンド: "UniCap:SetStep,N"

N : ステップ数

戻り値 : "OK" : 成功

コマンド: "UniCap:SetSave,N"

N : 取り込み時自動保存

0 : オフ

1 : オン

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

SetCycleCount

サイクル取り込み数設定

コマンド: "UniCap:SetCycleCount,N"

N : サイクル取り込み数

戻り値 : "OK" : 成功

コマンド: "UniCap:SetCycleType,N"

N : サイクル取り込みタイプ

0 : インターバルタイマー

1 : 待ち時間無し

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

SetCycleTime サイクル取り込みインターバル時間設定

コマンド: "UniCap:SetCycleTime,N"

N : サイクル取り込みインターバル時間[*』秒]

戻り値 : "OK" : 成功

機能 : 画像取込時のサイクルエンドのステータスが発生したかどうかを判定する為に使用する。連続画像取込の際に、指定枚数の画像取得が完了したのかを判定する場合等に使用。

コマンド: "UniCap:CycleEnd"

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

FrameEnd

フレームエンド発生

機能: 画像取込時のフレームエンドのステータスが発生したかどうかを判定する為に使用します。連続画像取込の際に、各画像取得が完了しているかを判定する場合等に使用します。

コマンド: "UniCap:CycleEnd"

戻り値 : "OK" : 成功

機能 : UniCapが、開いている画像ウインドウ、プロファイルウインドウ等を全て一括して閉じます。開いているデータの保存確認メッセージ等は、表示されませんので、本コマンドを使用する場合は、データの損失に注意して使用してください。

コマンド: "UniCap:CloseAll"

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

ActiveImage

アクティブウインドウに名前設定

コマンド: "UniCap:ActiveImage,NAME"

"NAME": ウインドウ名

戻り値 : "OK" : 成功

CalcAdd画像加算CalcSub画像減算CalcMul画像乗算CalcDiv画像除算CalcDif画像差分

コマンド: "UniCap:Calc???,NAME1,NAME2"

"UniCap:Calc???,NAME1,NUM2"

"UniCap:Calc???,NUM1,NAME2"

"UniCap:Calc???,NUM1,NUM2"

"NAME?" : ウインドウ名

NUM? : 数值

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

CalcSum画像積算CalcSigma画像積算

コマンド: "UniCap:CalcSum,NAME"

"UniCap: Calc Sigma, NAME"

"NAME": ウインドウ名

戻り値 : "OK" : 成功

NewImage 新画像ウインドウ作成

コマンド: "UniCap:NewImage,K,B,W,H,F"

"UniCap:NewImage,F"

"UniCap:NewImage,K,B,W,H,F,NAME"

"UniCap:NewImage,F,NAME"

K : 画像種類

1 : モノクロ

3 : カラー

B:画像ビット数W:画像横サイズ

H : 画像縦サイズF : フレーム数

"NAME": ウインドウ名

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

MoveImage 画像ウインドウ移動

コマンド: "UniCap:MoveImage,NAME,X,Y"

"NAME": ウインドウ名

X : X座標Y : Y座標

戻り値 : "OK" : 成功

SizeImage

画像ウインドウサイズ変更

コマンド: "UniCap:SizeImage,NAME,W,H"

"NAME": ウインドウ名

W : 横サイズ

H : 縦サイズ

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

ZoomImage 画像ウインドウズーム設定

コマンド: "UniCap:ZoomImage,NAME,N"

"NAME": ウインドウ名

N : ズーム

4 : x16

3 : x8

2 : x4

 $1 \qquad \vdots \qquad x2$

0 : x1

-1 : 1/2

-2 : 1/4

-3 : 1/8

-4 : 1/16

戻り値 : "OK" : 成功

CurrentImage アクティブ画像変更

コマンド: "UniCap:CurrentImage,NAME"

"NAME": ウインドウ名

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

FileLoadImage 画像ファイルロード

コマンド: "UniCap:FileLoadImage,FILE"

"UniCap: File Load Image, FILE, MODE"

"FILE": ファイル名

MODE: ウインドウタイプ

0 : 新ウインドウ

1 : アクティブウインドウ

戻り値 : "OK" : 成功

FileSaveImage アクティブ画像セーブ

コマンド: "UniCap:FileSaveImage,FILE"

"FILE": ファイル名

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

<u>FileLoadParam</u> カメラ設定ファイルロード

コマンド: "UniCap:FileLoadParam,FILE"

"FILE": ファイル名

戻り値 : "OK" : 成功

<u>FileWrite</u> ファイルライト

コマンド: "UniCap:FileWrite,FILE,MODE,STR"

"FILE": ファイル名

MODE: ファイルアクセスモード

0 : 新規

1 : 追加

"STR" : 書き込みデータ

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

ROICalc 画像ROI領域演算

コマンド: "UniCap:ROICalc,NAME,OP,X,Y,W,H"

"NAME": ウインドウ名

OP : 演算モード

1 : 最小値

2 : 最大値

3 : 平均値

4 : 標準偏差

X : ROI X座標

Y : ROI Y座標

W : ROI 横サイズ

H : ROI 縦サイズ

戻り値 : "ROI:RES"

RES : 演算值

②CaptBase : 画像取り込みコマンド

Monitor ライブ開始

Snap スナップ開始

<u>LiveSnap</u> ライブ&スナップ開始

Cycle サイクル取り込み開始

Stop取り込み中断

コマンド: "CaptBase:Monitor"

"CaptBase:Snap"

"CaptBase:LiveSnap"

 $"CaptBase \\ \vdots \\ Cycle"$

"CaptBase:Stop"

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

Status 取り込みステータス取得

コマンド: "CaptBase:Status"

戻り値 : "READY" : 取り込み停止

"BUSY": 取り込み中

③Universal : カメラ設定コマンド

TrgMode トリガモード設定

コマンド: "Universal:TrgMode,MODE"

"MODE" : トリガモード

"Internal": $DCAM_TRIGMODE_INTERNAL$

"ExternalEdge": DCAM_TRIGMODE_EDGE
"ExternalLevel": DCAM_TRIGMODE_LEVEL

 $"MultishotSensitive" : DCAM_TRIGMODE_MULTISHOT_SENSITIVE\\$

"CycleDelay": DCAM_TRIGMODE_CYCLE_DELAY
"Software": DCAM_TRIGMODE_SOFTWARE

"FastRepetition": DCAM_TRIGMODE_FASTREPETITION

"TDI": DCAM_TRIGMODE_TDI

 $"TDIInternal" \quad : \quad \quad DCAM_TRIGMODE_TDIINTERNAL$

"Start" : DCAM_TRIGMODE_START

戻り値 : "OK" : 成功

ExpTime 露光時間設定

コマンド: "Universal:ExpTime,TIME"

TIME : 露光時間[秒]

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

Gain ゲイン設定

コマンド: "Universal:Gain,N"

N : ゲイン

戻り値 : "OK" : 成功

Offset オフセット設定

コマンド: "Universal:Offset,N"

N : オフセット

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

<u>LightMode</u> ライトモード設定

コマンド: "Universal:LightMode,N"

N : ライトモード

戻り値 : "OK" : 成功

Sensitivity センシティビティ設定

コマンド: "Universal:Sensitivity,N"

N : センシティビティ

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

ScanMode スキャンモード設定

コマンド: "Universal:ScanMode,MODE"

"MDOE" : スキャンモード

"Slow" : スロースキャン

"Fast" : ハイスキャン

戻り値 : "OK" : 成功

Binning ビニング設定

コマンド: "Universal:Binning,N"

N : ビニング

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

SubArray サブアレイ設定

コマンド: "Universal:SubArray,HPos,VPos,HSize,VSize"

HPos : X座標スタート位置

VPos : Y座標スタート位置

HSize : 横サイズ VSize : 縦サイズ

戻り値 : "OK" : 成功

TrgPol トリガ極性設定

コマンド: "Universal:TrgPol,MODE"

"MODE" : トリガ極性

"Negative" : $DCAM_TRIGPOL_NEGATIVE$

"Positive" : DCAM_TRIGPOL_POSITIVE

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

<u>Cooler</u> クーラ設定

コマンド: "Universal:Cooler,MODE"

"MODE" : クーラ

"Off" : オフ

"On" : オン

戻り値 : "OK" : 成功

Temperature クーラ温度設定

コマンド: "Universal:Temperature,TST"

TST : クーラ温度

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

Window 取り込みウインドウモード設定

コマンド: "Universal:Window,MODE"

"MODE" : 取り込みウインドウモード

"New" : 新規ウインドウ

"Active": アクティブウインドウ

戻り値 : "OK" : 成功

4特殊コマンド

Dark Image File ダーク補正ファイル設定

コマンド: "UniCap:UniCap: SetDc,ファイルパス"

ファイルパス: ダーク画像補正ファイルの指定を行います。

ファイル名をフルパスで設定してください。

戻り値 : "OK" : 成功

"NG" : コマンドエラー

Dark Correction ダーク画像補正実行

コマンド: "UniCap:UniCap:DarkCorrect"

ファイルパス: カレント画像に対してダーク画像補正を実行します。

戻り値 : "OK" : 成功

<u>CreateDir</u> フォルダ作成

コマンド: "UniCap: UniCap:CreateDir,フォルダーパス")

ファイルパス: フォルダーを作成します。

フォルダー名をフルパスで設定してください。

戻り値 : "OK" : 成功

5. 付録

(1) スクリプトコマンドの戻り値

1. "OK"

データタイプ : SCR_DATA_BOOL

データ値 : TRUE

2. "NG"

データタイプ : SCR_DATA_BOOL

データ値 : FALSE

3. "READY"

 \vec{r} - \vec

データ値: 1

4. "BUSY"

データタイプ : SCR_DATA_LONG

データ値 : 0

5. "TMP:tmp"

 \vec{r} - \vec

データ値: ?

6. "ROI:roi"

データタイプ : SCR_DATA_DOUBLE

データ値 : ?

7. その他

データタイプ : SCR_DATA_STRING

データ値 : "?"